

---

# 2014年度中間決算説明会



平成26年11月25日

## 【1. 2014年度中間決算概要】

・業績概要	.....	1
・資金利益	.....	3
・貸出金	.....	4
・有価証券	.....	6
・預金・NCD	.....	7
・円貨預貸金利回り	.....	8
・役務取引等利益	.....	9
・経費	.....	10
・与信費用	.....	11
・不良債権	.....	12
・自己資本	.....	13
・業績予想	.....	14

## 【2. 経営戦略】

・中期経営計画	.....	15
(2-1 営業力の強化)		
・個人取引マーケットの取組強化	.....	16
・コンサルティング営業の強化	.....	19
・広域グループの優位性発揮	.....	20
・貸出金・預金 見通し	.....	21
・有価証券運用の強化	.....	22
(2-2 経営の効率化)		
・効率化施策	.....	23
・経費・OHR	.....	24
(2-3 経営基盤の強化)		
・資本政策・資産の質の向上	.....	25
・中期経営計画“GO for IT!”の進捗	.....	26

# 1. 2014年度中間決算概要

# 業績概要 (連結・2行合算)

(億円)

## 【ほくほくFG連結】

	14/9期	増減	13/9期
経常収益	964	11	952
経常利益	218	△ 16	235
中間純利益	138	15	123

## 【2行合算】

	14/9期	増減	13/9期
コア業務粗利益	720	4	715
資金利益	610	△ 4	614
役務取引等利益	95	7	87
特定取引利益	1	△ 0	1
その他業務利益	13	2	11
経費(△)(臨時処理分を除く)	477	△ 1	478
コア業務純益	243	6	237
国債等債券損益	28	19	8
一般貸倒引当金繰入(△)	0	0	-
業務純益	271	25	245
臨時損益	△ 47	△ 36	△ 11
うち不良債権処理額(△)	29	29	0
うち株式等損益	4	2	1
経常利益	223	△ 10	233
特別損益	△ 4	16	△ 21
法人税等(△)	70	△ 15	85
中間純利益	148	21	126
(参考)与信費用	30	29	0

## 【ほくほくFG連結】

**経常利益 218億円**

(13/9期比△16億円、期初業績予想比+83億円)

**中間純利益 138億円**

(13/9期比+15億円、期初業績予想比+63億円)

## 【2行合算】

**コア業務純益 243億円** (13/9期比+6億円)

…資金利益の減少、役務取引等利益の増加

**経常利益 223億円** (13/9期比△10億円)

…国債等債券損益の増加、与信費用の増加

**中間純利益 148億円** (13/9期比+21億円)

…特別損失の減少、法人税等の減少

## 【連単差の内訳】

(億円)

	14/9期	前年比	13/9期
差額	△ 10	△ 6	△ 3
子会社利益	8	△ 1	9
のれん償却	△ 10	-	△ 10
パーチェス調整	△ 0	0	△ 0
その他	△ 8	△ 6	△ 1

# 業績概要 (北陸銀行・北海道銀行)

	北陸銀行			北海道銀行 (億円)		
	14/9期	増減	13/9期	14/9期	増減	13/9期
コア業務粗利益	381	△ 8	389	339	13	326
資金利益	319	△ 17	336	291	12	278
役務取引等利益	51	6	45	43	1	42
特定取引利益	1	△ 0	1	-	-	-
その他業務利益	9	3	6	3	△ 1	4
経費 (△) (臨時処理分を除く)	259	0	258	217	△ 2	219
コア業務純益	122	△ 8	130	121	15	106
国債等債券損益	27	19	8	0	0	0
一般貸倒引当金繰入 (△)	△ 0	△ 0	-	0	0	0
業務純益	150	11	139	121	15	106
臨時損益	△ 25	△ 24	△ 0	△ 22	△ 11	△ 11
うち不良債権処理額 (△)	8	18	△ 9	21	12	8
うち株式等損益	△ 0	1	△ 1	4	1	3
経常利益	125	△ 13	139	98	3	94
特別損益	△ 4	16	△ 20	△ 0	0	△ 0
法人税等 (△)	42	△ 3	45	27	△ 12	40
中間純利益	78	5	72	70	16	54
(参考)与信費用	8	17	△ 9	21	12	9

## 【北陸銀行】

コア業務純益 122億円 (13/9期比△8億円)  
 …貸出金利息の減少、保険販売手数料の増加  
 経常利益125億円 (13/9期比△13億円)  
 …不良債権処理額の増加

## 【北海道銀行】

コア業務純益 121億円 (13/9期比+15億円)  
 …有価証券利息および投信・保険販売手数料の増加  
 経常利益 98億円 (13/9期比+3億円)  
 …不良債権処理額の増加

# 資金利益

- 貸出金は平残が増加したが利回り低下が続き、利息収入は前中間期比減少
- 有価証券利息は投信・外債他での運用強化や投信解約益等により前中間期比増加

## 【資金利益】

【2行合算】	(億円)		
	14/9期	増減	13/9期
資金利益	610	△ 4	614
貸出金	512	△ 24	536
有価証券(※)	125	10	115
預金・NCD(△)	21	△ 7	29

## 利息増減要因

【2行合算】	(億円)	
	平残要因	利回要因
貸出金	0	△ 24
有価証券	△ 4	14
預金・NCD(△)	0	△ 8

※うち投信解約益:11億円(前年比+9億円)

## 【平残】

【2行合算】	(億円)		
	14/9期	増減	13/9期
貸出金	73,405	134	73,271
有価証券	23,937	△ 842	24,779
預金・NCD	103,636	2,545	101,090

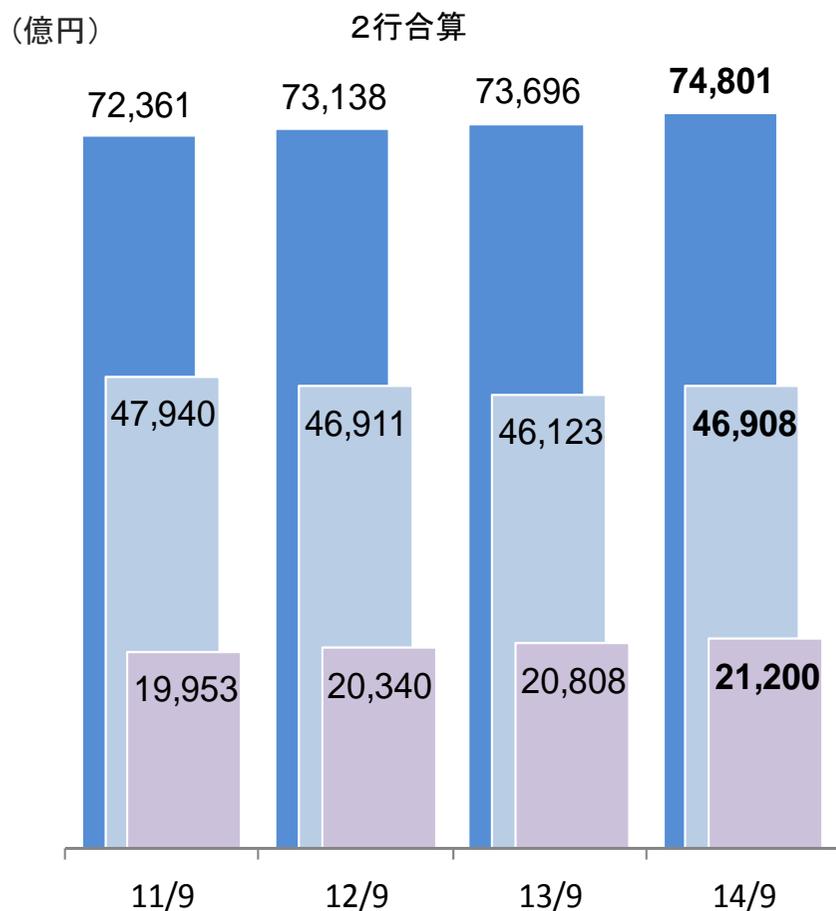
## 【資金利回り】

【2行合算】			
	14/9期	増減	13/9期
貸出金	1.39%	△0.06%	1.45%
有価証券	1.04%	0.12%	0.92%
預金・NCD	0.04%	△0.01%	0.05%

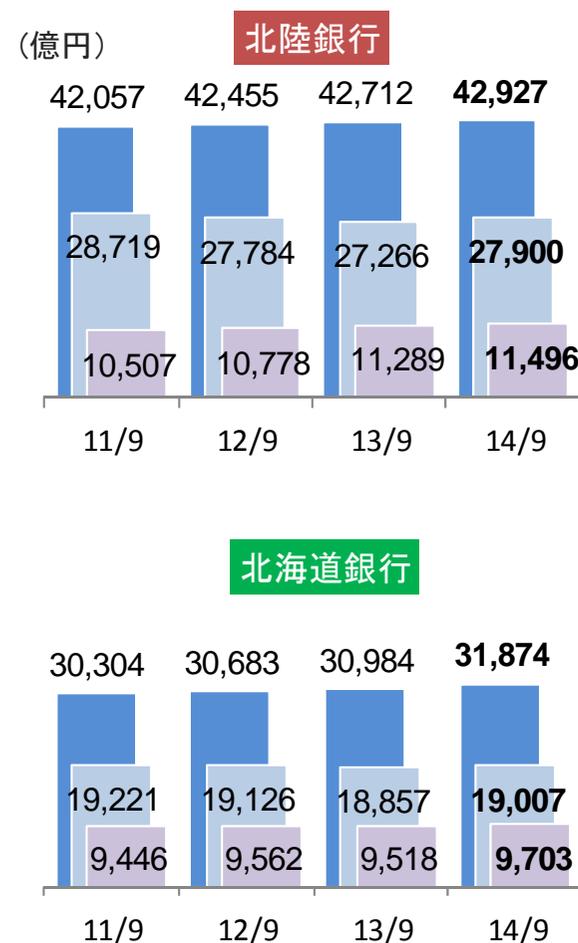
# 貸出金

- 貸出金残高は、前中間期比増加額を拡大させ、堅調に増加
- 個人ローンは増加傾向を維持、中小企業等貸出は減少傾向から反転

## 【貸出金残高】



- 貸出金
- 中小企業等
- 個人ローン



- 個人ローンは住宅ローン・カードローンで残高を積み上げ
- 住宅ローン実行額は消費増税前の駆け込み需要の反動から前中間期比減少

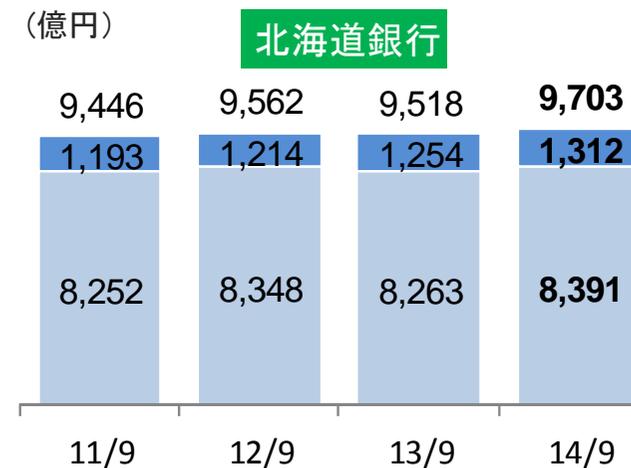
## 【個人ローン残高】



## 【住宅ローン実行額】

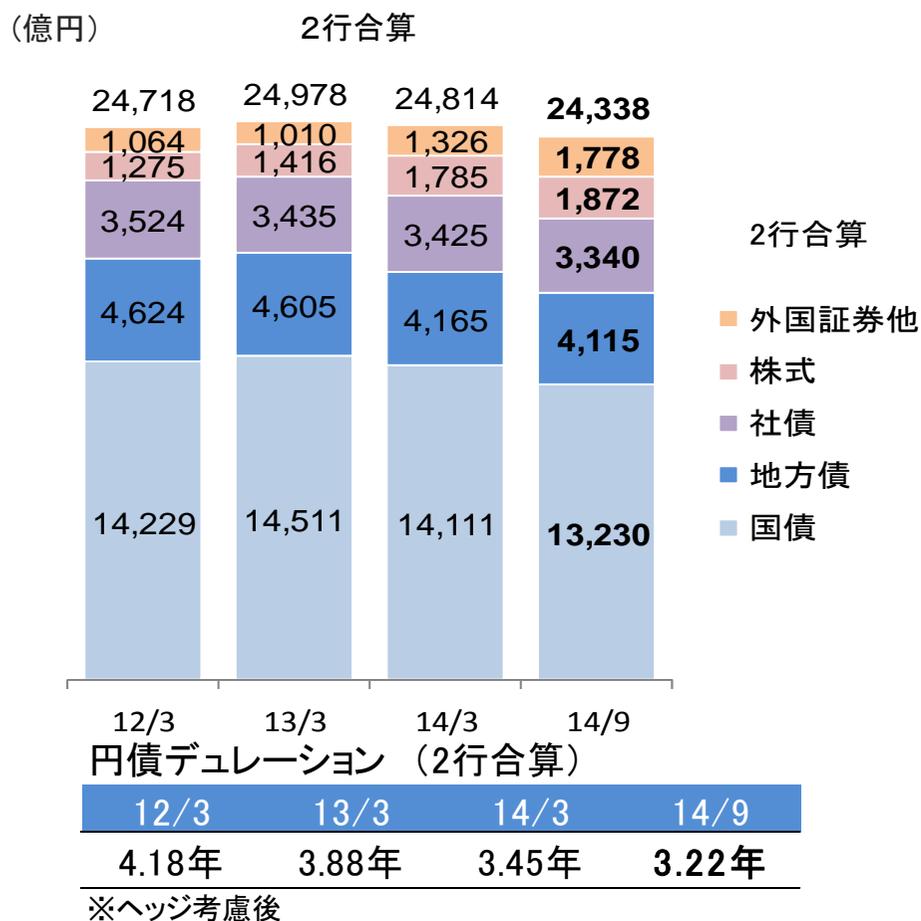
(億円)

	11/上	12/上	13/上	14/上
北陸銀行	474	552	605	497
北海道銀行	342	387	340	371
2行合算	817	940	946	869



- 株式、外国債券を積上げる一方で、国債は金利情勢を勘案しながら売却を実施
- その他有価証券の評価損益は株式市場の好転により前期末比177億円増加

## 【有価証券残高】



## 【その他有価証券の評価損益】

(億円)

2行合算	14/9末	増減	14/3末
その他有価証券	1,104	177	926
株式	651	176	474
債券	390	△ 15	405
その他	62	15	46

## 【円債残高、利回り、金利リスク】

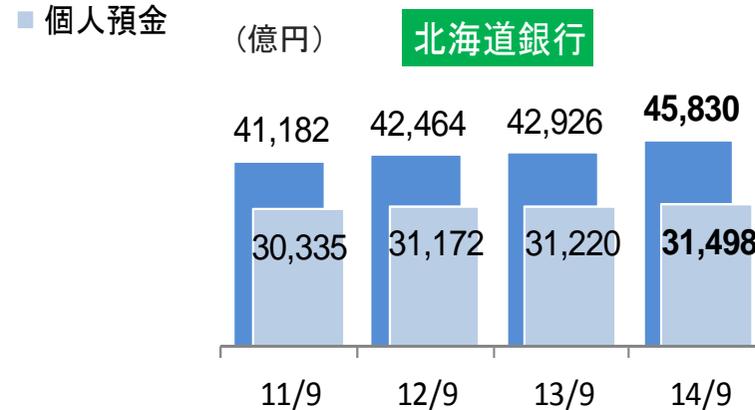
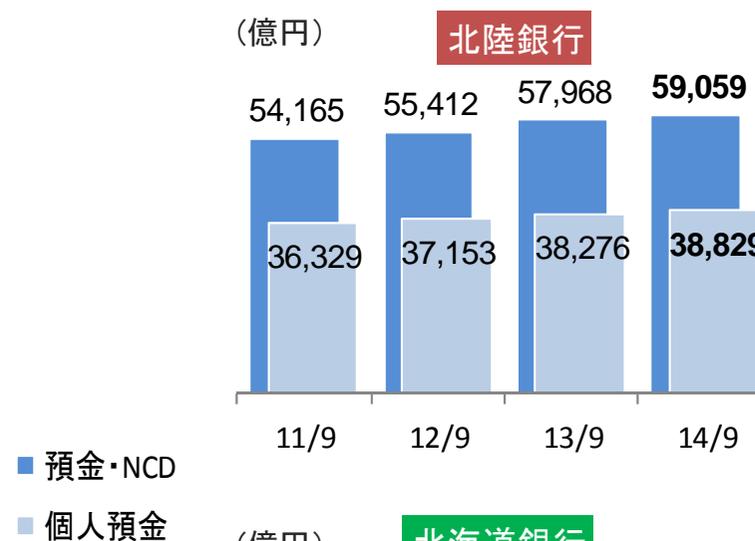
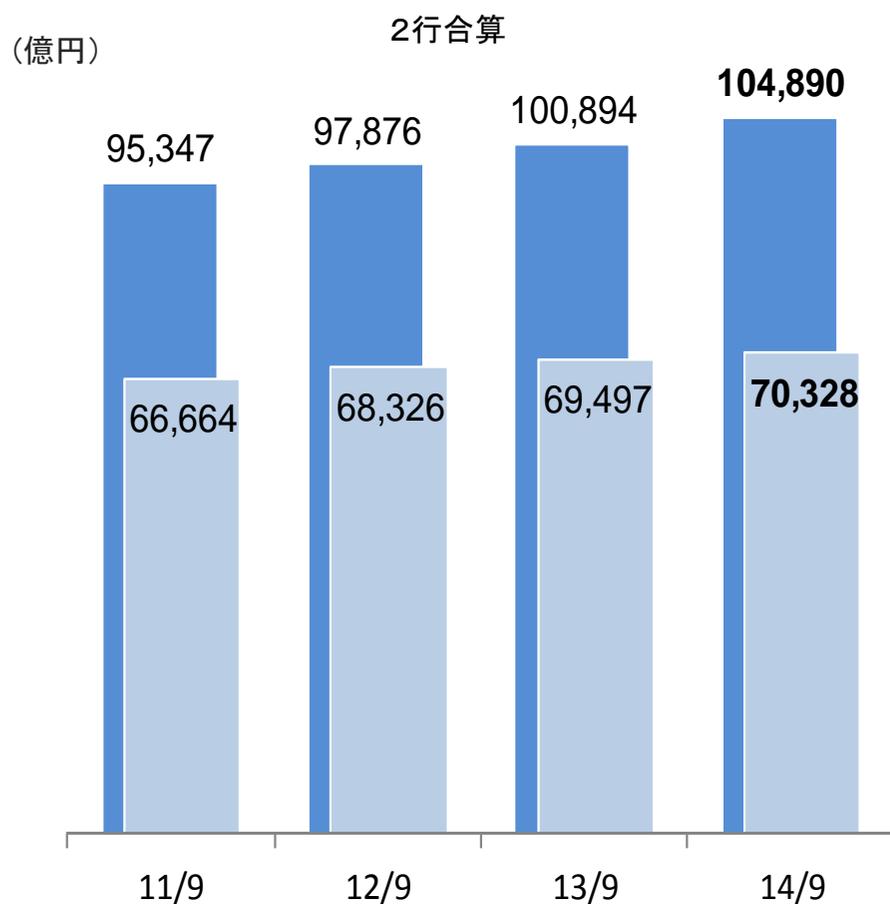
(億円)

2行合算	14/9末	増減	14/3末
円貨債券残高	20,687	△ 1,014	21,702
うち変動利付国債	3,850	△ 247	4,097
期中平均利回り	0.66%	△ 0.04%	0.71%
VaR	203	△ 33	237

# 預金・NCD

- 預金残高は個人・法人・公金すべてのセグメントで増加
- 個人預金は前中間期比831億円増加し7兆328億円

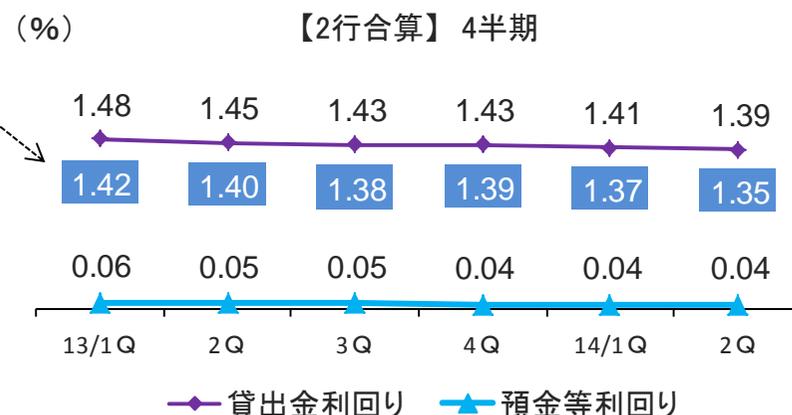
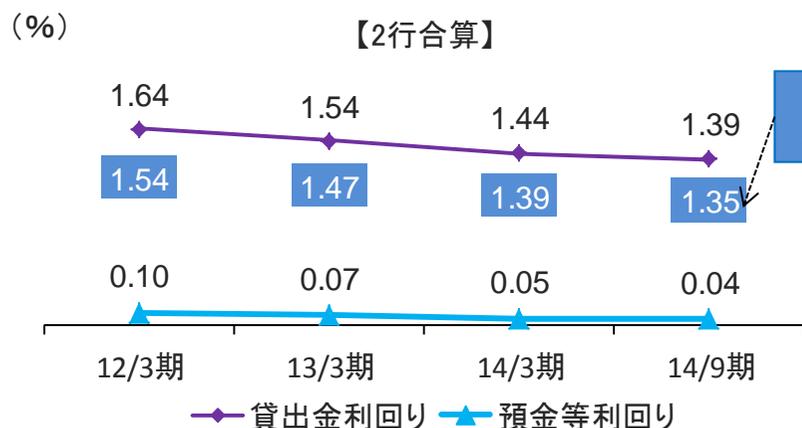
## 【預金・NCD残高】



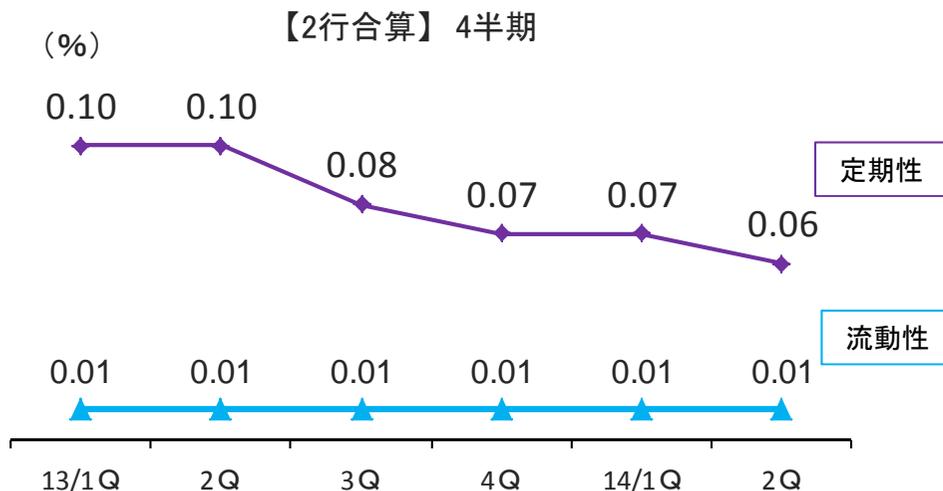
# 円貨預貸金利回り (内部管理ベース)

- 貸出金利回りは、事業性で下げ止まり傾向
- 個人は利回りの低い貸出への入替りにより低下傾向が続く

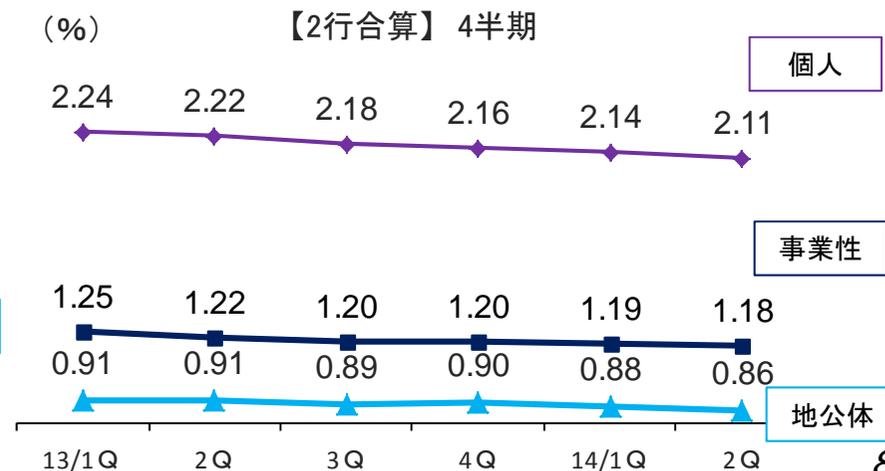
## 【円貨預貸金利回り差】



## 【円貨預金利回り】



## 【円貨貸出金利回り】



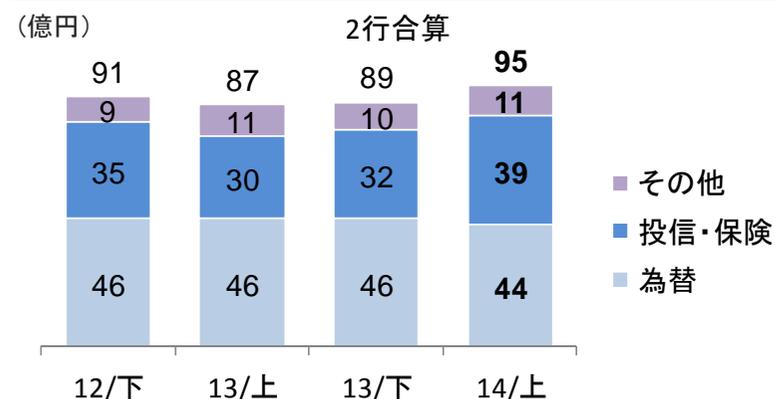
# 役務取引等利益

- 役務取引等利益は投資信託・保険販売手数料が増加し前中間期比7億円増加
- 投資信託は株式マーケット等が堅調に推移し、販売高・残高ともに増加

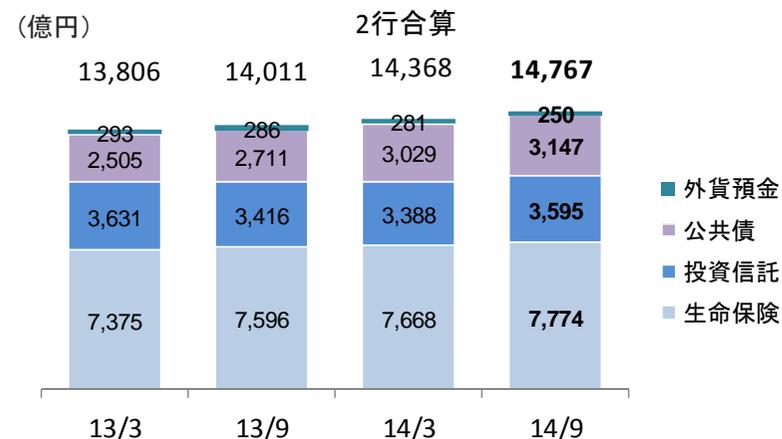
## 【非金利収入】

2行合算	(億円)		
	14/9期	増減	13/9期
(1) 役務取引等利益	95	7	87
役務取引等収益	171	6	164
うち受入為替手数料	54	△ 1	55
うち投資信託手数料	23	2	21
うち保険手数料	15	6	8
役務取引等費用(△)	76	△ 0	76
うち支払為替手数料(△)	9	△ 0	9
うちローン保険料・保証料(△)	48	△ 0	49
(2) 特定取引利益	1	△ 0	1
(3) その他業務利益(除く5勘定戻)	13	2	11
うち外為売買損益	6	△ 2	8
うち金融派生商品収益	7	4	3
(4) 非金利収入計 (1)+(2)+(3)	110	9	100
(5) コア業務粗利益	720	4	715
(6) 非金利収入比率 (4)/(5)	15.30%	1.20%	14.10%

## 【役務取引等利益】



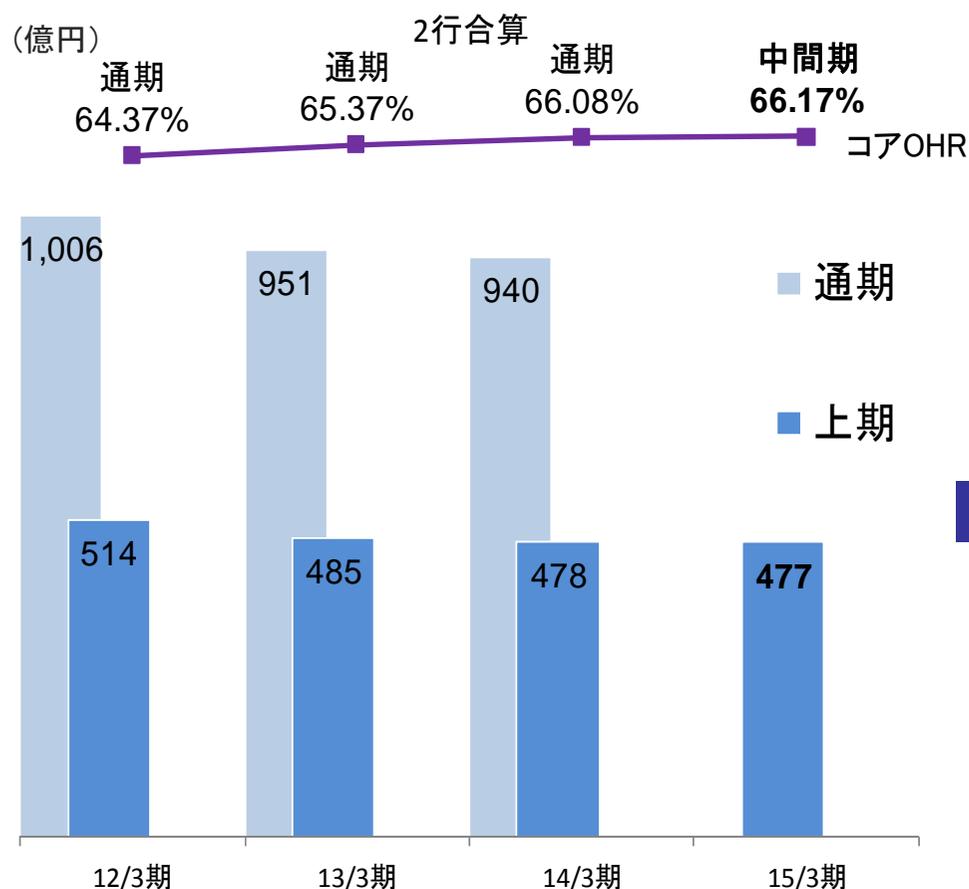
## 【投資型金融商品(個人)の残高】



# 経費

- 経費は消費増税による税金増加分を物件費及び人件費の削減で補い前中間期比 1 億円減少
- コアOHRは横ばい

## 【経費・OHR】



## 【増減要因】

(億円)

2行合算	14/9期	増減	13/9期
人件費	221	△ 1	222
物件費	229	△ 3	232
税金	26	2	23
経費	477	△ 1	478

## 【従業員数】

(人)

2行合算	14/9期末	増減	13/9期末
正社員	5,283	△ 28	5,311
スタッフ	3,176	△ 6	3,182

- ・従業員数は嘱託、パート、派遣社員を除く正行員
- ・スタッフ数＝嘱託＋契約＋臨時＋派遣・直接雇用パート

# 与信費用

➤ 与信費用は前中間期比増加したが依然低水準で推移

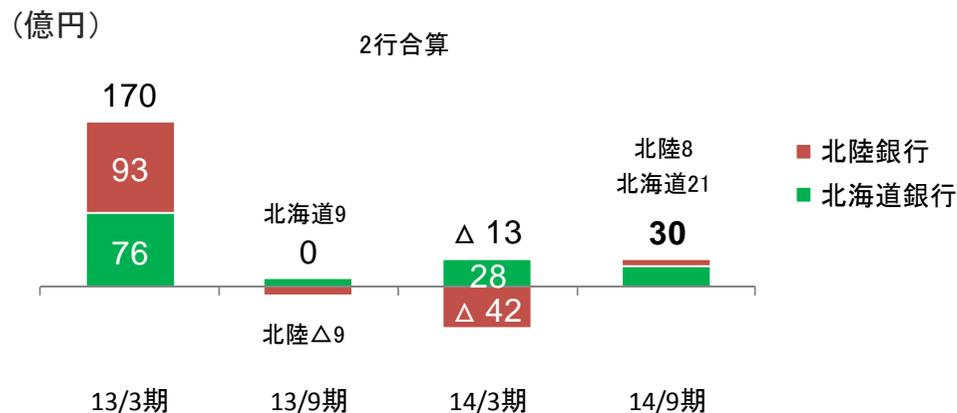
## 【与信費用要因】

【2行合算】	(億円)		
	14/9期	増減	13/9期
与信費用	30	29	0
一般貸倒引当金繰入	0	0	[△3] -
不良債権処理額	29	29	0
個別貸倒引当金繰入	26	26	[2] -
貸倒引当金戻入益	-	△ 0	→ 0

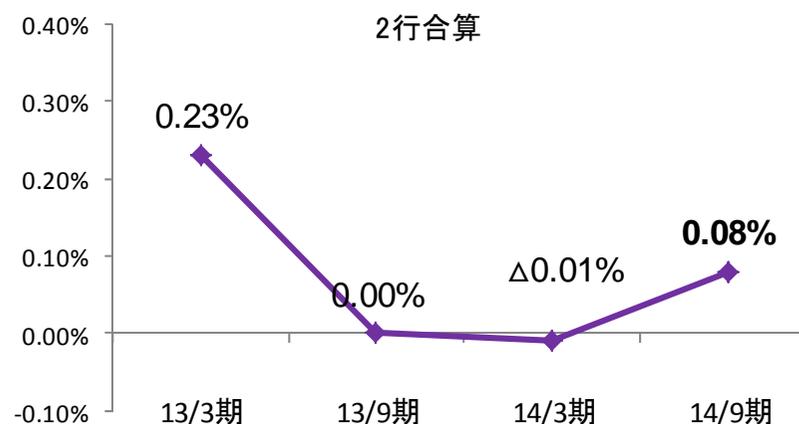
## 不良債権処理額発生要因 (億円)

	14/9期	増減	13/9期
債務者区分悪化	62	8	54
債務者区分改善	△ 5	1	△ 7
地価下落	9	△ 1	10
その他回収等	△ 36	21	△ 57

## 【与信費用】



## 【与信費用比率】

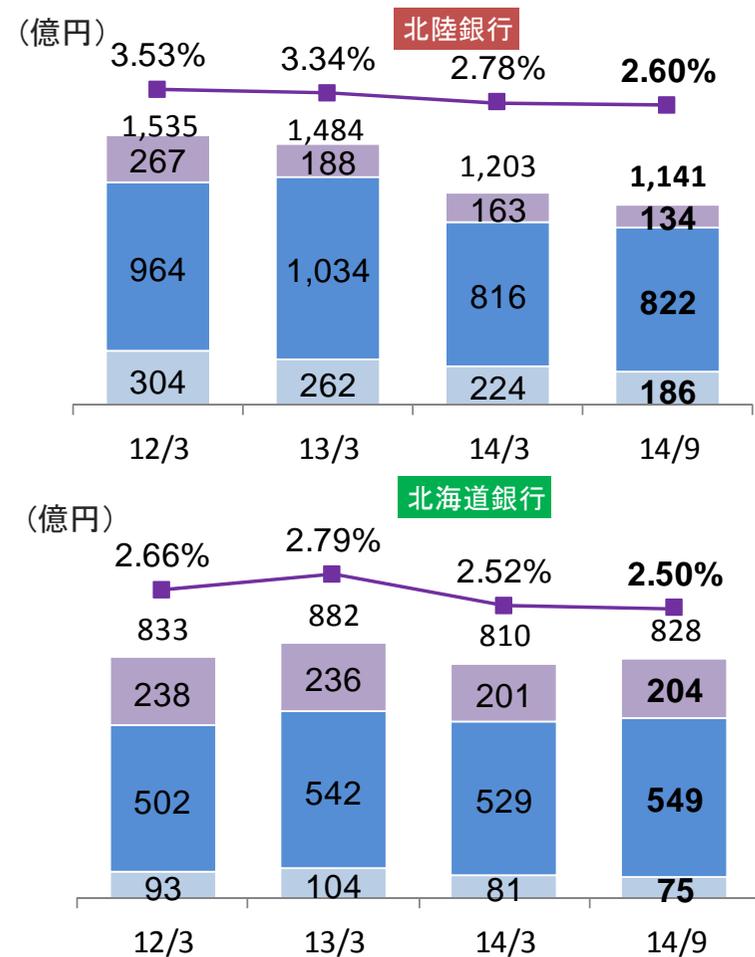
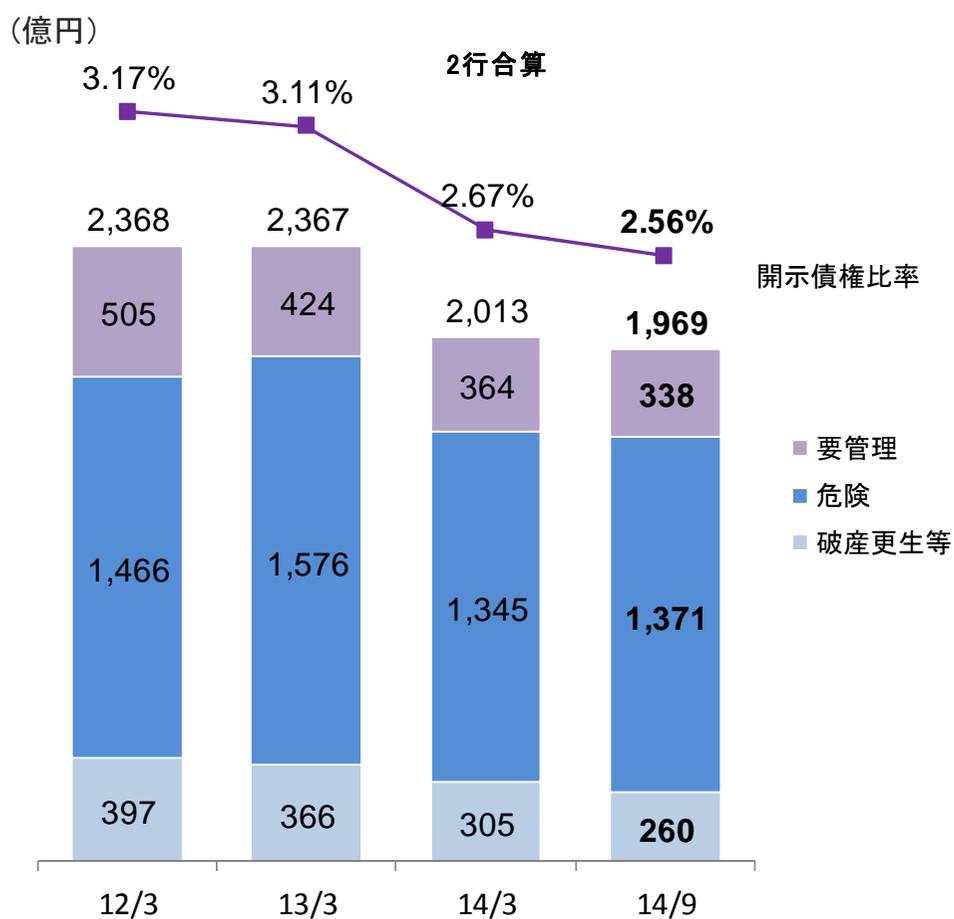


与信費用比率 = 与信費用 ÷ 貸出金平残

# 不良債権

- 破産更生債権を主に開示債権額が減少し、加えて正常債権が増加したことから、開示債権比率は前期末比0.11ポイント低下

## 【金融再生法開示債権】



# 自己資本

- 利益の積上げの一方で、劣後債務の返済（450億円）を進め、自己資本比率は前期末比0.93ポイント低下

## 【自己資本・リスクアセット】

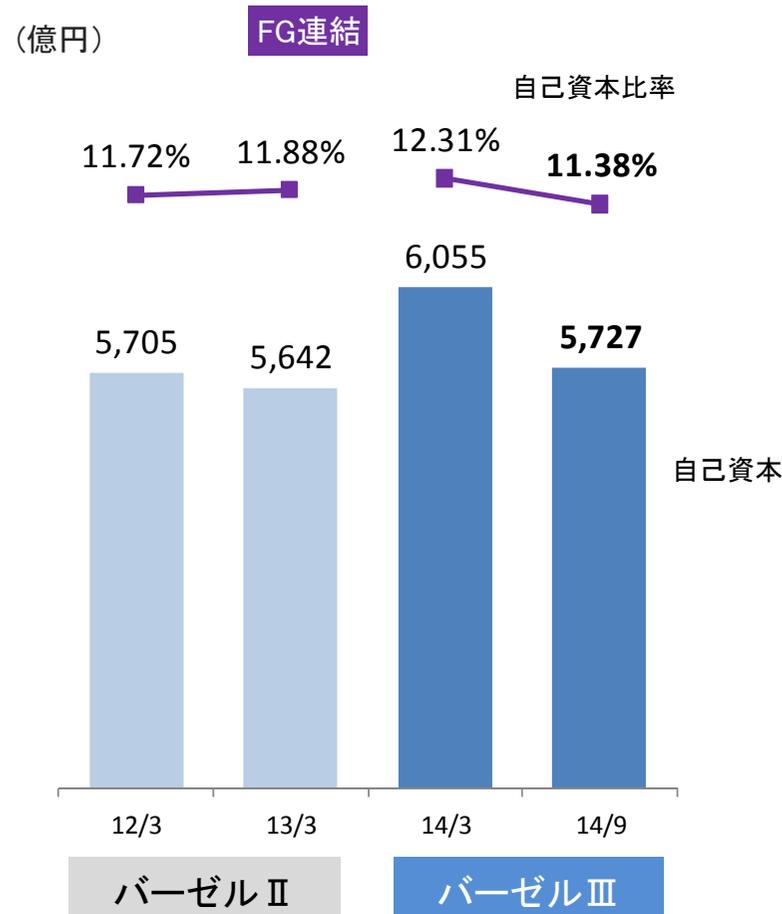
【バーゼルⅢ国内基準】

【FG連結】	経過措置適用			完全実施(試算)
	14/9期	増減	14/3期	14/9期
	(億円)			
自己資本	5,727	△ 327	6,055	3,861
基礎項目	5,940	△ 338	6,279	4,148
調整項目(△)	212	△ 11	224	287
リスクアセット	50,302	1,115	49,186	50,153
自己資本比率	11.38%	△ 0.93%	12.31%	7.69%

## 【銀行勘定の金利リスク】

【2行合算】	14/9末	増減	14/3末
	(億円)		
金利リスク量 (99パーセンタイル値)	138	13	125
アウトライヤー比率	2.42%	0.35%	2.07%

## 【自己資本比率】



# 業績予想

## 【15/3期 業績予想】

(億円)

FG連結	通期予想	前年比
経常収益	1,850	△ 59
経常利益	350	△ 144
当期純利益	210	△ 63

## 【15/3期 配当予想】

	中間配当	期末配当	年間予想
普通株式	—	4円00銭	4円00銭
第5種優先株式	7円50銭	7円50銭	15円00銭

## 【15/3期 業績予想】

	2行合算		北陸銀行単体		北海道銀行単体	
	通期予想	前年比	通期予想	前年比	通期予想	前年比
経常収益	1,715	△ 65	930	△ 47	785	△ 17
コア業務粗利益	1,410	△ 12	760	△ 10	650	△ 2
経費(△)	950	9	510	4	440	5
コア業務純益	460	△ 22	250	△ 14	210	△ 7
与信費用(△)	90	103	40	82	50	21
経常利益	350	△ 135	200	△ 104	150	△ 30
当期純利益	220	△ 55	120	△ 58	100	3

(億円)

## 2. 経営戦略

## 中期経営計画 “GO for IT!”

2013年4月 ~ 2016年3月(3カ年)

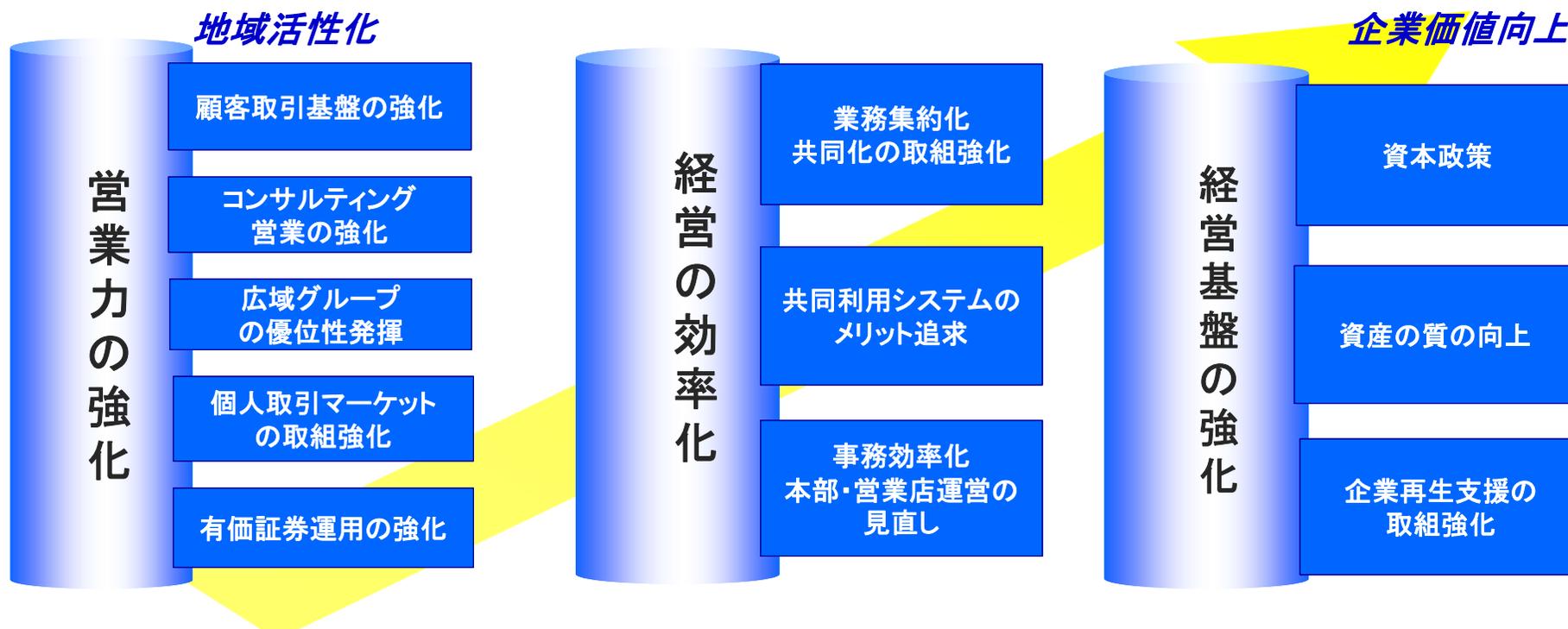
～持続的な成長に向けた事業戦略の最適化に取り組む期間～

名称

“GO for IT!”

目指す  
グループ像

「地域から親しまれ、頼りにされる金融グループ」



## 2-1 営業力の強化

## ①住宅ローン

➤ 住宅購入ニーズ・リフォームニーズ  
を取込み、貸出残高の積上げを図る

### 商品性向上・キャンペーン

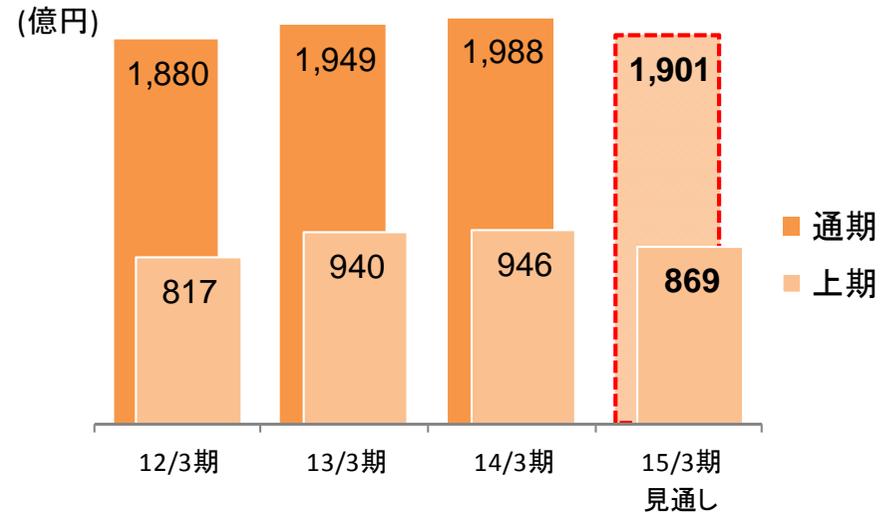
- 「奥さま保障」取扱
- リフォームローン融資限度額拡大
- 住宅ローンキャンペーン



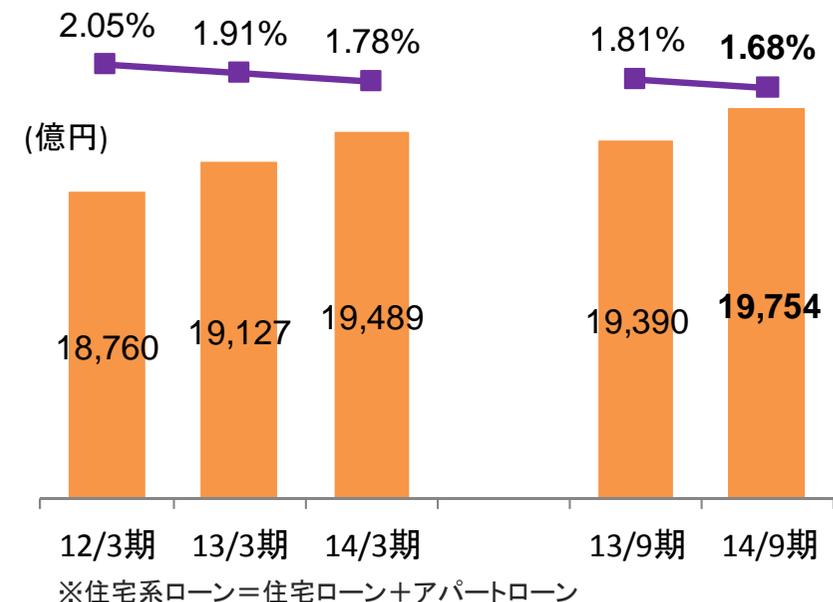
### 間口拡大・接点強化

- HPからの住宅ローン事前審査の申込受付
- インターネットでの繰上返済・金利変更受付
- 住宅ローンプラザ休日営業拡大
- 住宅ローン業者とのリレーション強化

### 【住宅ローン実行額】



### 【住宅系ローン平残・利回り】



## ②カードローン

➤ **キャッシングニーズを取込み、高利回りの貸出を積上げる**

＜カードローン 商品ラインナップ＞

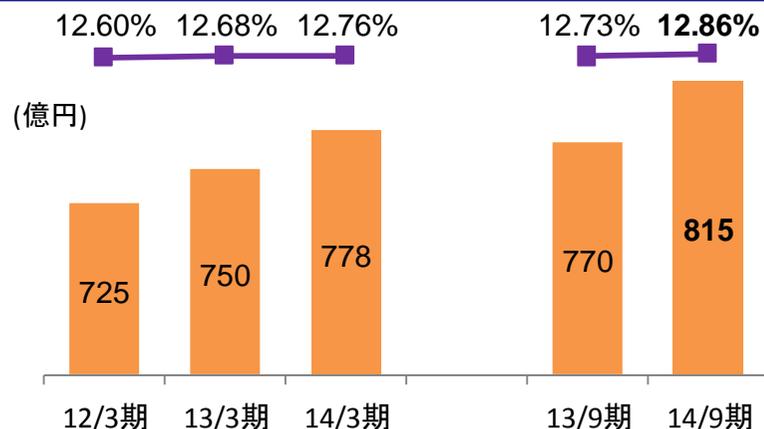
	インバウンド	ATM	従来型
 北陸銀行	クイックマン	—	NOW
 北海道銀行	ラピッド	ATMカードローン	サクセス

### 新規契約者の拡大・既契約者の利用促進

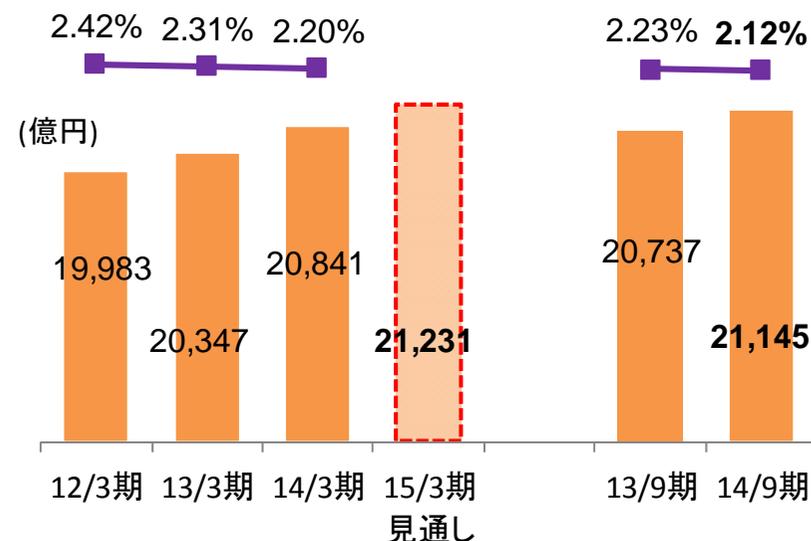
- テレビコマーシャル・新聞広告の強化
- 既往取引先への極度額増額工作



### 【カードローン平残・利回り】



### 【個人ローン平残・利回り】



- ボリュームは住宅ローンの積上げを主に増加傾向を維持する
- 金利は住宅ローン要因により低下傾向が続くが、カードローンの積上げにより利回り低下を抑えて行く

# 個人取引マーケットの取組強化

## ③ 預かり資産（投資信託・保険他）

▶ ライフステージ毎の運用ニーズを取込み、役務収益の増強を図る

### 提案力向上

- タブレット端末導入
- EBMの活用(イベント情報の拡大)

### NISAによる口座数拡大

	25年9月末	26年3月末	26年9月末
投信口座	203, 935	206, 359	214, 733
NISA口座	16, 502	29, 240	43, 665
割合	8. 1%	14. 2%	20. 3%

- 各種運用セミナー実施

### インターネットバンキング(IB)

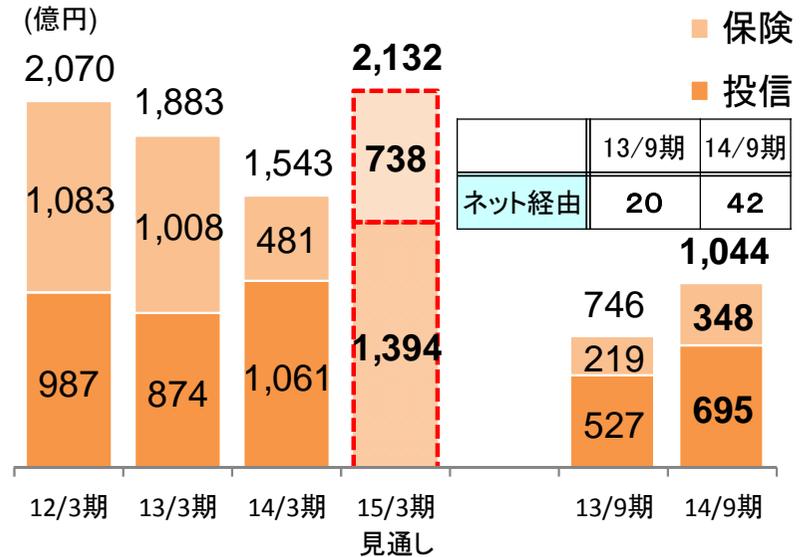
- IB専用投資信託商品(北陸:Funds-i、北海道:e-MAXIS)
- 投信メニューのスマートフォン専用画面導入
- IBでの公共債取引開始

### 人財育成・活用

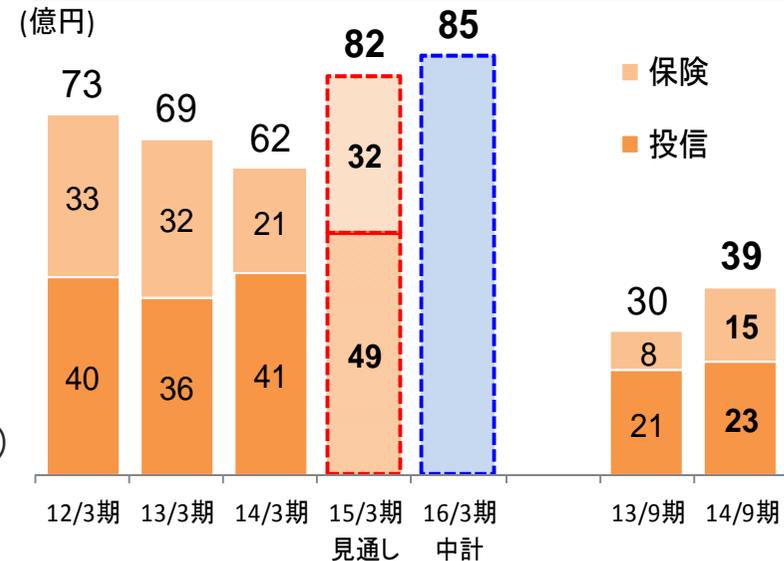
- 窓口でのコンサル体制強化(FCテラー、LAデスク)
- 「預かり資産専担者」導入



### 【投信保険販売額】



### 【投信保険収益額】



# コンサルティング営業の強化

- 課題解決による資金需要の創出
- 成長分野を中心としてビジネス支援拡大



事業性貸出の減少及び金利低下に歯止めをかける

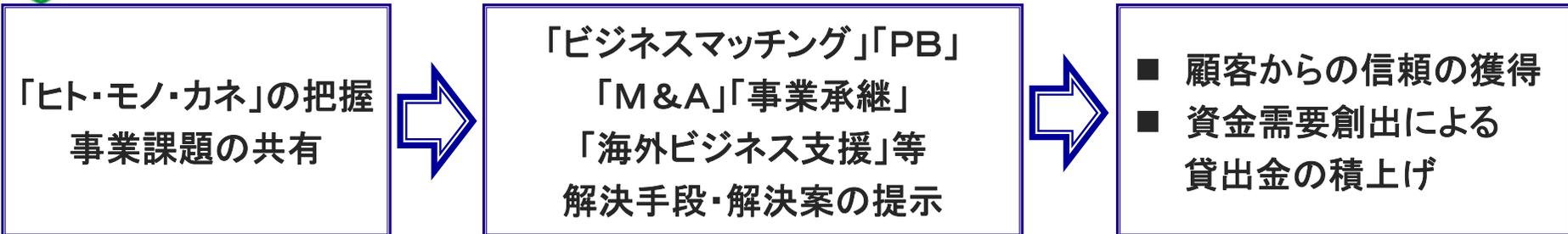
## 取引先のニーズ・課題の共有⇒解決案提示



取引先別に「応援テーマ」を選定し、お客様の目線にたった営業活動を展開



全行を挙げて、全力で取り組む先を選定し、本部・支店、役職員一体となった集中工作を展開



## 成長分野

残高	(億円)		
	13/3期	14/3期	14/9期
医療・福祉(2行合算)	1,996	2,136	2,231
アグリ関連(北海道)	270	303	320

### 医療

「地域ヘルスケア産業支援ファンド」(6億円出資)と協力し、医療・介護事業者への支援を拡大

### アグリ

農業者・食関連企業双方の事業拡大・新規事業創出を促進する『6次産業化』の工作を展開

## 人財育成・活用

弁護士	公認会計士	農業経営 アドバイザー	医業経営 コンサルタント	医療経営士
4名	12名	68名	2名	21名

- 目利き力を高める研修の実施

## M&A

- 「日本M&Aセンター」より受賞



・バンカーオブザイヤー



・地域貢献大賞

・情報開発大賞

「日本」「中国」「アジア」「ロシア」に広がる  
広域ネットワークによるビジネス機会の創出



お取引先の事業拡大による  
資金需要の獲得、リレーション強化

## 「海外ネットワーク」によるビジネス機会創出

- 海外拠点を拡充:ウラジオストク駐在員事務所開設(14年3月)
- 「中国信託ホールディングス」との業務提携(7月)
- 商談会・セミナーによる情報提供・ビジネス機会創出
  - 道銀ロシア極東ビジネス交流会inウラジオストク(6月)
  - ものづくり商談会@バンコク2014(6月)
  - 中国主要都市ビジネスセミナー(7月)
  - 日中ものづくり商談会@上海2014(9月)
  - Japanese Food Trade Fair in Singapore(9月)
  - 青島・地方銀行合同企業交流会 2014(9月)

## 「国内ネットワーク」によるビジネス機会創出

- 北海道・東北ビジネスマッチング～6次産業化商談会～
- 北海道の『食』特別商談会in函館
- 「ほくほく連携」によるお客様の相互紹介・ビジネスマッチング

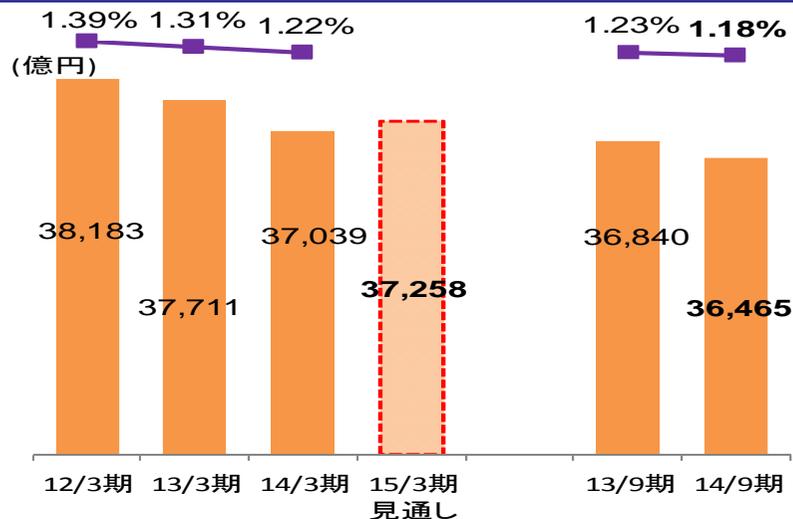
## 人財育成 ・ 活用

- 「北海道国際ビジネス協力員」への就任
- 海外研修、海外トレーニーの実施

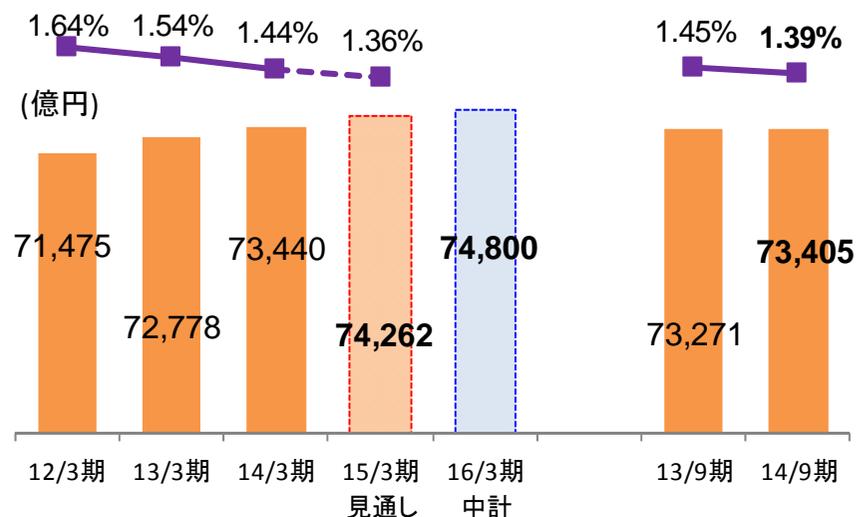


# 貸出金・預金 見通し

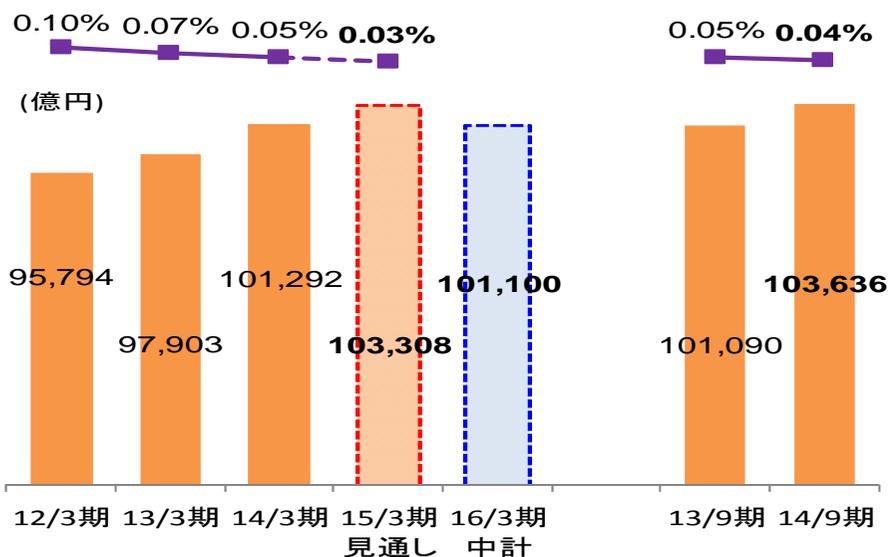
## 【事業性貸出平残・利回り】



## 【貸出平残・利回り】



## 【預金平残・利回り】



### 貸出金

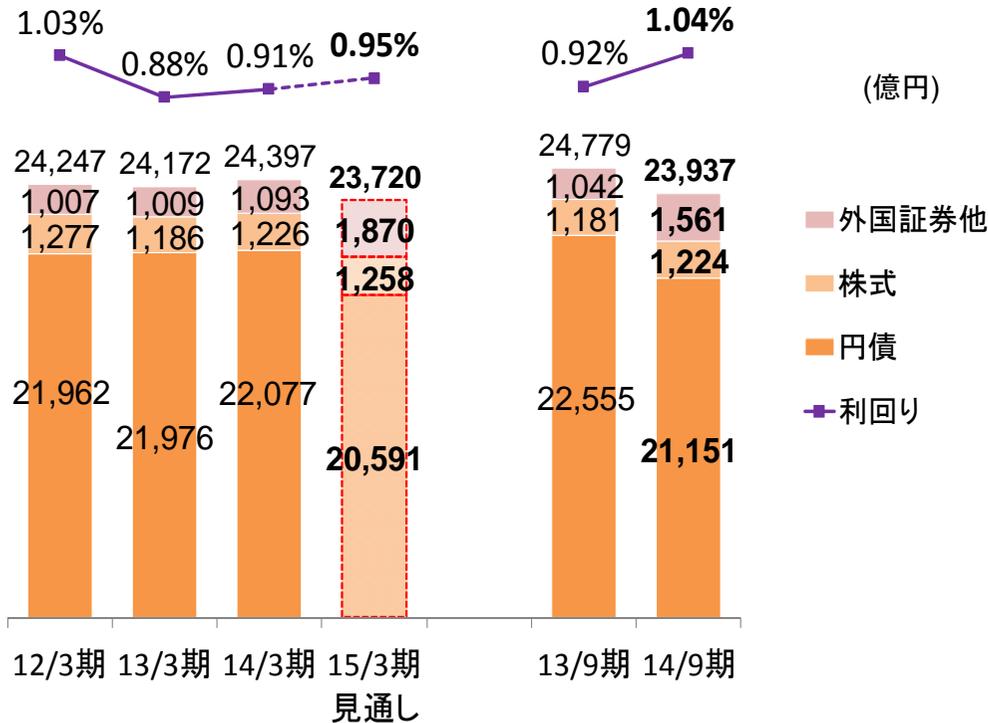
- ボリュームは増加傾向を維持し、中期経営計画最終年度の計画達成を目指す
- 利回りは「カードローン」や「コンサルティング営業」等の施策を着実に進め、低下傾向に歯止めを掛ける

### 預金

- 給与や年金等の基盤取引拡大によりベースとなる預金の積上げを図る

# 有価証券運用の強化

## 【有価証券平残・利回り】



- 投資信託・外国証券での運用を強化し運用利回りの向上を図る
- 国債は金利情勢を見ながら機動的に売買を行う

## 【平残見通し】

(億円)

【2行合算】	15/3期	増減	14/3期
貸出金	74,262	821	73,440
有価証券	23,720	△ 677	24,397
預金・NCD	103,308	2,016	101,292

## 【資金利回り見通し】

【2行合算】	15/3期	増減	14/3期
貸出金	1.36%	△0.07%	1.44%
有価証券	0.95%	0.03%	0.91%
預金・NCD	0.03%	△0.01%	0.05%

## 2-2 経営の効率化

## 共同利用システムのメリット追求

### ➤ 2016年1月 MEJARシステムに「七十七銀行」が加わり4行体制

- 2011年 5月:MEJARへ移行
- 2015年10月: システムⅡ期更改  
サーバ共同化
- 2016年 1月: 七十七銀行 MEJARへ移行



参加行増加による  
システム開発・維持費の低下

## 営業店運営体制の見直し

### ➤ 今後の人口動向を見据えて「営業店運営体制」を見直し

#### 都市部

渉外・融資係をエリア母店に集約し、効率化と同時にエリア全体へのサービス強化を目指す運営体制

#### 地方

相談業務をテレビ会議システムにより本部一括対応する等、サービス水準を維持したうえで、融資・渉外事務を本部に集中し、最小限の人員で行う運営体制

## シナジー効果の加速

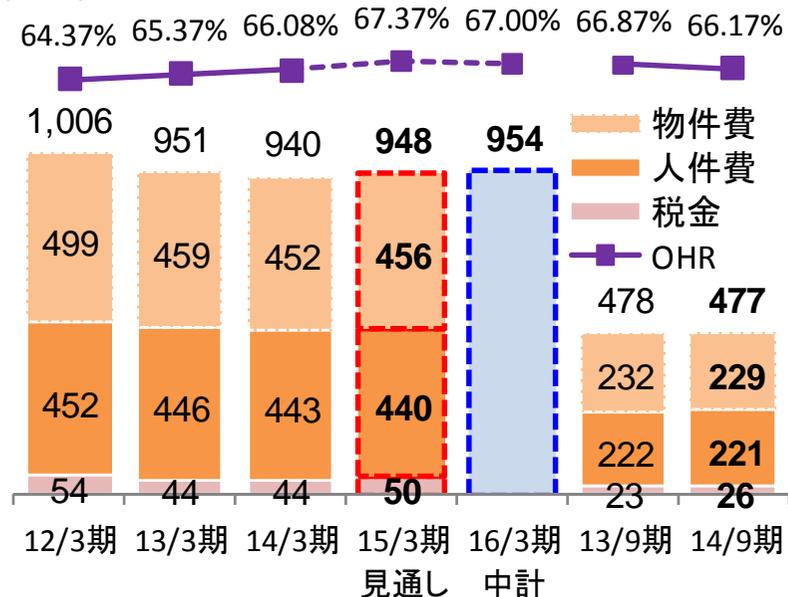
### ➤ 業務の共通化・集約化を促進し、コスト削減を図る

- 管理業務(リスク管理、監査等)の業務集約化促進
- 営業店事務、サブシステムの統一化
- 人財の相互交流促進による業務水準の向上・スキルアップ

## 【経費・コアOHR】

### ➤ 経費削減に取り組み消費税増税による増加分を補う

(億円)



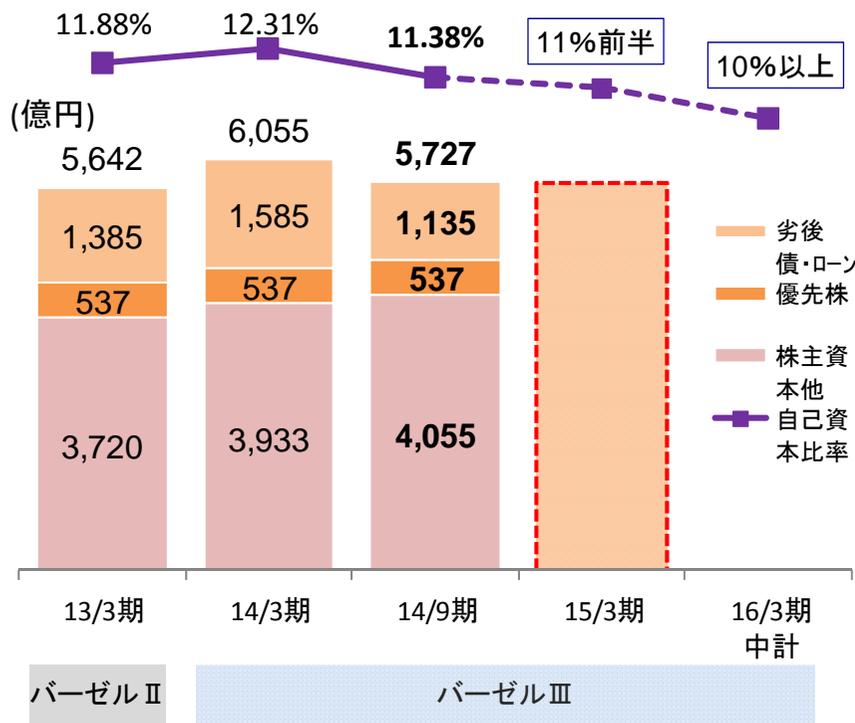
- 事務効率化・本部集中化による人件費の削減
- ATM設置状況の見直しや店舗賃借料等の見直し
- 2行共同化による経費抑制
  - ・キャッシュカード発行
  - ・手形発行・交換事務
  - ・文書管理センター利用
  - ・メールカー運行

## 2-3 経営基盤の強化

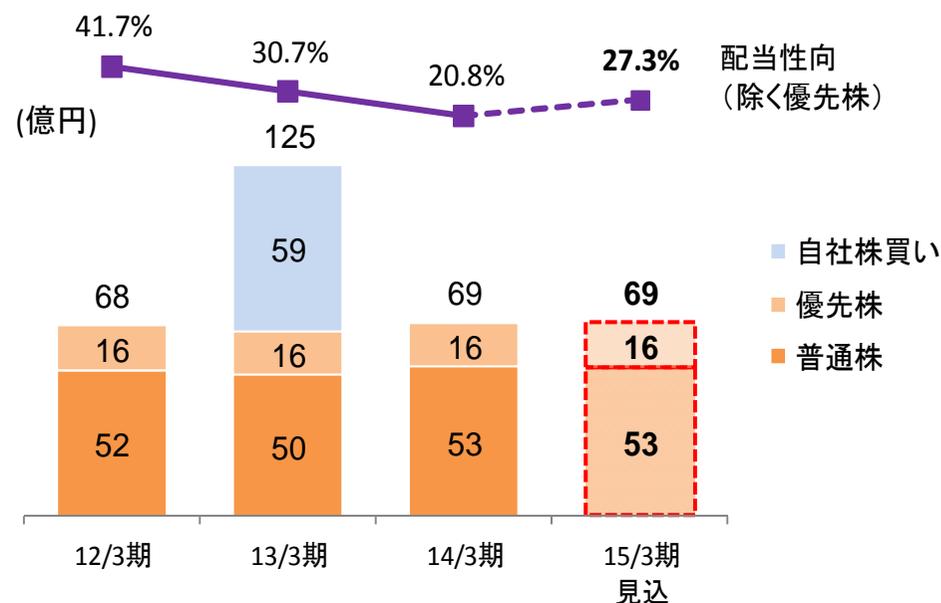
# 資本施策・資産の質の向上

- 劣後債務の返済を進め、調達コストの低減を目指す
- 収益の積上げとリスクアセットのコントロールにより、2016年3月末の自己資本比率10%以上を目指す

【連結自己資本比率】



【株主還元】



普通株配当額推移(一株当たり)

単位:円

08/3	09/3	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3 (見込み)
2.50	3.00	3.50	3.75	3.75	3.75	4.00	4.00

# 中期経営計画 “GO for IT!” の進捗

## 【主要計数の進捗】

	14年3月期(通期)	14年9月期(半期) (15年3月期(通期予想))	16年3月期計画
総預金平残	10兆1,292億円	10兆3,636億円 (10兆3,308億円)	10兆1,100億円
貸出金平残	7兆3,440億円	7兆3,405億円 (7兆4,262億円)	7兆4,800億円
コア業務純益	482億円	243億円 (460億円)	470億円
連結当期純利益	273億円	138億円 (210億円)	185億円
連結自己資本比率	12.31%	11.38%	10%以上
OHR (コア業務粗利ベース)	66.08%	66.17% (67.37%)	67%
不良債権比率	2.67%	2.56%	2%台

本件に係る照会先

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ  
企画グループ(担当:宮崎)

TEL:076-423-7331

FAX:076-423-9545

E-MAIL:[honsha2@hokuhoku-fg.co.jp](mailto:honsha2@hokuhoku-fg.co.jp)

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境等の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。